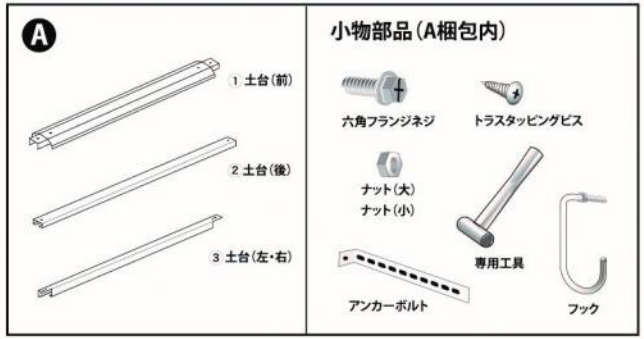
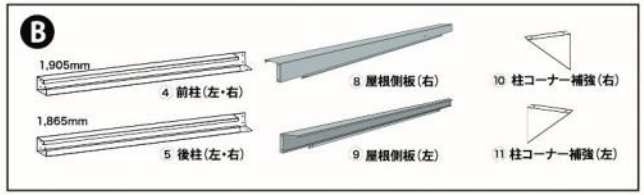
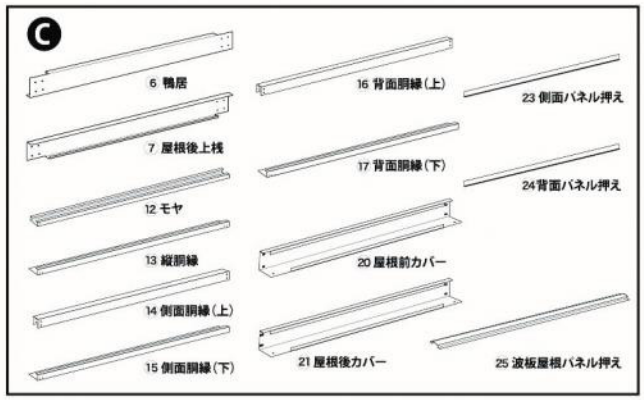
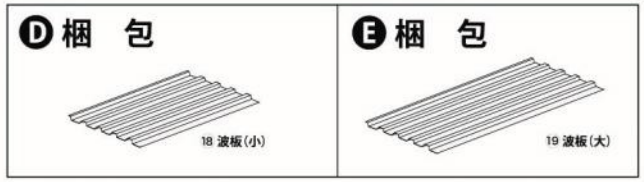
⚠ 危険　取り扱い上の注意

1.転倒防止のためアンカー工事は必ず行ってください。(アンカー工事は別途)
2.屋根に乗ったり、物を載せたり、ぶら下がらないで;ください。
3.積雪時には、雪降ろしは早めにしてください。安全のために30cm以下で行ってください。
4.屋根や樋に木の葉や泥をためないでください。(雨漏りと錆発生の原因になります。)
5.設置場所は、基礎部の水はけが良い所にしてください。(ベース部、錆発生の原因になります。)
6.組立作業は、、組立説明書の手順通りに行って手袋等で保護し安全に行ってください。。









梱包別部品一覧表

1/5

1	土台(前)	1本	
2	土台(後)	1本	
6	鴨居(前)	1本	
7	屋根後上桟	1本	
16	背面胴縁(上)	1本	
17	背面胴縁(下)	1本	
24	背面パネル押え	2本	

2/5

4	前柱(左、右)	2本	
5	後柱(左、右)	2本	
13	縦胴縁	6本	
14	側面胴縁(上)	2本	
15	側面胴縁(下)	2本	
23	側面パネル押え	4本	
10.11	柱コーナー補強補強	2個	

3/5

3	土台(左右)	2本	
8.9	屋根側板(左右)	2本	
12	モヤ	1本	
20	屋根前カバー	1本	
21	屋根後カバー	1本	
25	波板屋根パネル押え	1本	
	説明書、部品セット		
	六角ビス	55	
	セパレート付ナット	11	
	タッピングビス	111	
	アンカー	4	
	フック	4	
	専用工具	1	

4/5

18	波板(小)	7枚	

5/5

19	波板(大)	3枚	

Bタッピングビス(小) 56本

取り扱い・組立説明書

このたびは、多目的万能物置　万能物置　をお買い上げいただきありがとうございました。
この説明書をよくご覧になってから組み立ててください。

●組立前に各部の形状、部品数量が揃っているか確認してください。
●スチール製のため、組み立てる際にはケガをしないよう、手袋などを着用してください。
また、作業は必ず2人以上で行ってください。

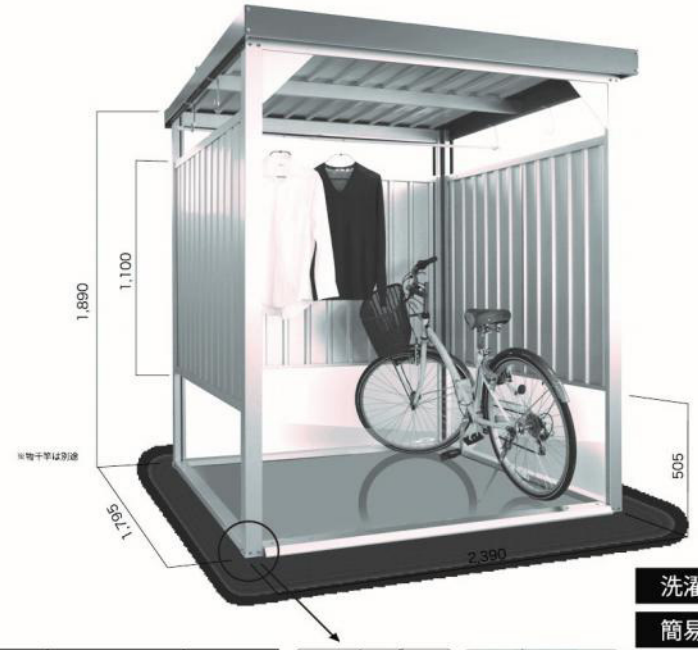
多目的万能物置　アイディア次第でいろんな用途に

万能物置 (DM-10)サイズ

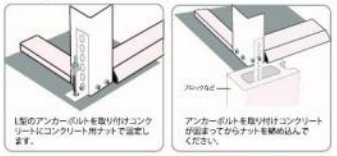
全高:1,890mm／奥行:1,795mm／全幅:2,390mm

ゆったり余裕のスペース!! 使い方は無限大!!

約1.0坪



部材名	材料	鉄板厚さ
ベース	ガルバリウム鋼板	1.6 mm
屋根・壁	ガルバリウム鋼板	0.27mm
屋根周り	塗装鋼板	1.0 mm
縦柱他	ガルバリウム鋼板	1.0 mm



●幅・奥行き・深さとも約25cmの穴を堀り、コンクリートを流し込んでください。(4カ所)
●最後に転倒防止の為、必ず取り付けてください。
●組み立て費及びアンカー工事別途

※転倒防止の為、アンカー工事は必ず行ってください。

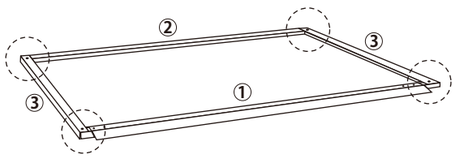
- 洗濯物干し場
- 簡易休憩所
- 自転車・バイク物置場
- 作業場・農機具置き場
- 露天小屋・仮店舗
- 自治会 町内会　公認ゴミステーション

組立順序

1 土台の組立

（使用ビスーA） A

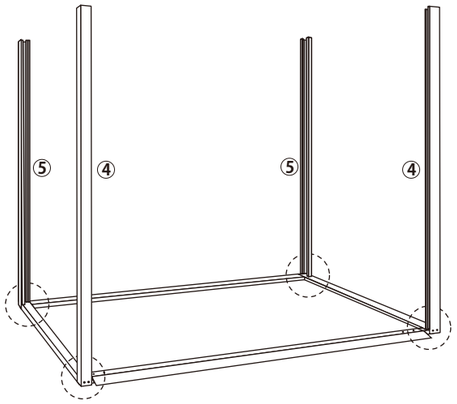
地面をならし土台部品、前①、後②、左右③、を水平に設置しAビスで取り付けます。。



2 支柱の組立

（使用ビスーA） A

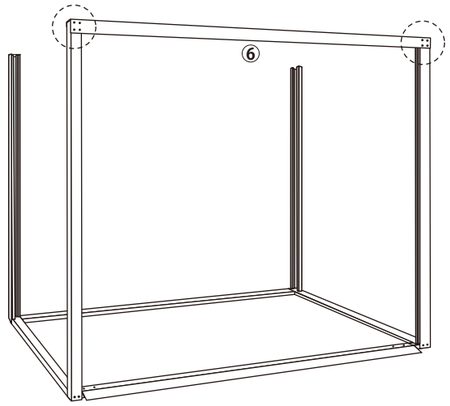
前柱左右④、後柱左右⑤をAビスで取り付けます。



3 鴨居の組立

（使用ビスーA） A

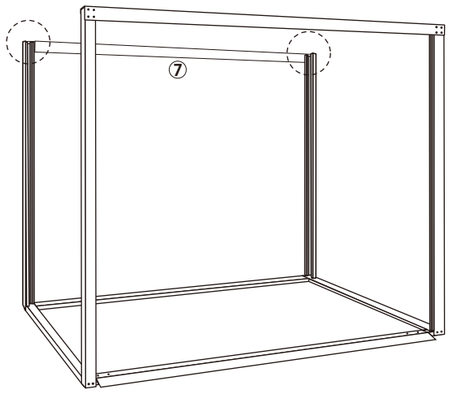
鴨居⑥、をAで取り付けます。



4 屋根後上の組立

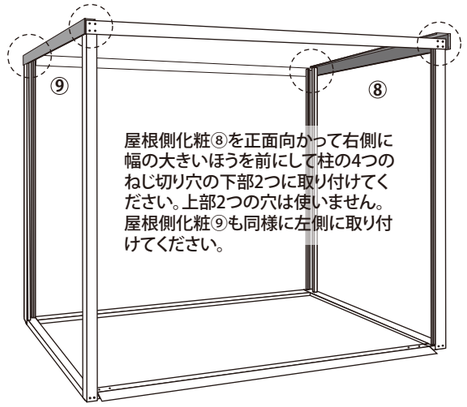
（使用ビスーA） A

屋根後上桟⑦をAビスで取り付けます。



5 屋根後上の組立

（使用ビスーA） A

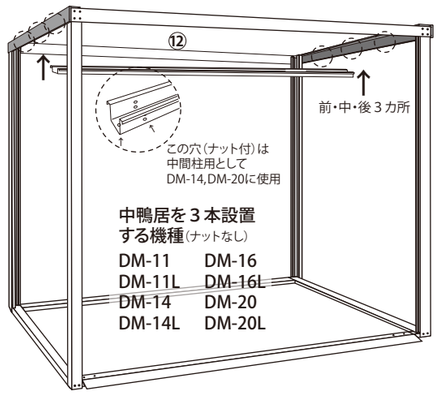


屋根側化粧⑧を正面向かって右側に幅の大きいほうを前にして柱の4つのねじ切り穴の下部2つに取り付けてください。上部2つの穴は使いません。屋根側化粧⑨も同様に左側に取り付けてください。

6 モヤ（鴨居）の組み立て

（使用ビスーA） A

モヤ⑫をAビスで取り付けます。



中鴨居を３本設置する機種（ナットなし）

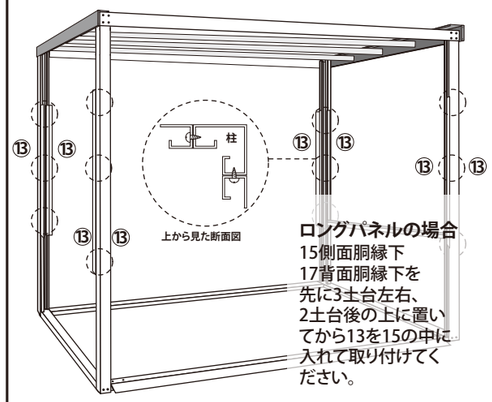
DM-11	DM-16
DM-11L	DM-16L
DM-14	DM-20
DM-14L	DM-20L

7 縦胴縁の組立

（使用ビスーB） B

胴縁⑬をBビスで取り付けます。

※DM-⑦,⑩以外は中間柱を先に取り付けます。

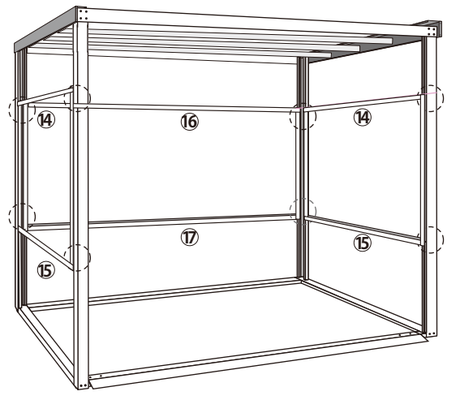


ロングパネルの場合
15側面胴縁下
17背面胴縁下を
先に3土台左右、
2土台後の上に置いてから13を15の中に入れて取り付けてください。

8 側面、背面胴縁の組立

（使用ビスーB） B

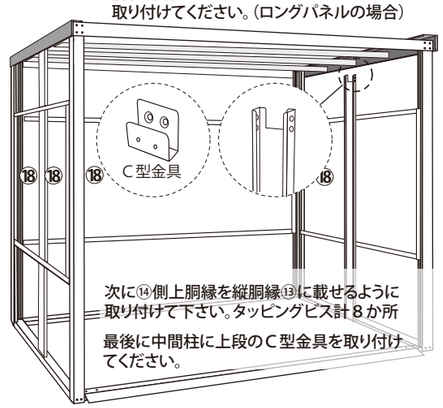
側面胴縁上⑭、下⑮と背面胴縁上⑯、下⑰をBビスで取り付けます。



9 中間柱の組立

（使用ビスーB） B

中間柱にC型金具（下のみ）取り付け、下段のC型金具の上に側下胴縁⑮を置き、説明書№7の縦胴縁を側胴縁⑮の中に入れ、前柱、後柱にタッピングビスで取り付けてください。（ロングパネルの場合）



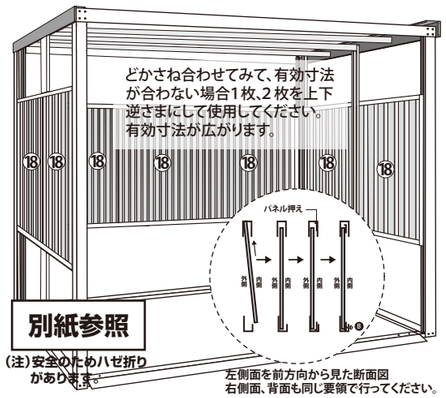
次に⑭側上胴縁を縦胴縁⑬に載せるように取り付けて下さい。タッピングビス計８か所

最後に中間柱に上段のC型金具を取り付けてください。

10 波板側面、背面パネルの組立

（使用ビスーB） B

波板側面、背面パネル⑱を取り付け
側面パネル押え、㉓を上下１本ずつ背面パネル押え㉔（上下１本ずつ）を入れBビスで固定します。



どかさね合わせてみて、有効寸法が合わない場合1枚、2枚を上下逆さまにして使用してください。有効寸法が広がります。

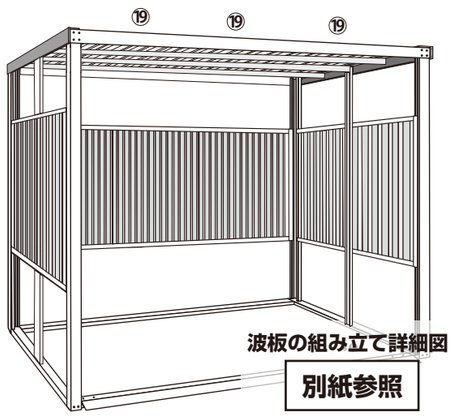
別紙参照

（注）安全のためハゼ折りがあります。

左側面を前方向から見た断面図
右側面、背面も同じ要領で行ってください。

11 波板屋根パネルの組立

波板屋根パネルNO.5のの梱包を下記の図面の要領でのせてください。



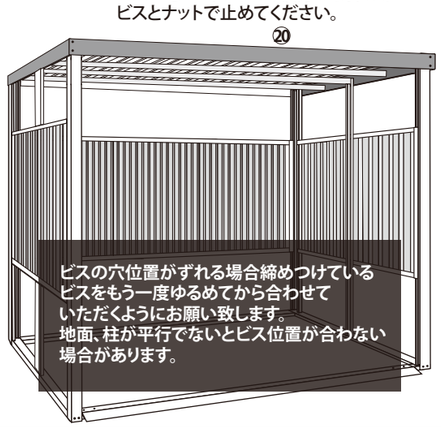
波板の組み立て詳細図

別紙参照

12 屋根前カバーの組立

（使用ビスーA）＋ナット A

屋根前カバー20、を側板⑧,⑨の前部分とで取り付け波板屋根パネル⑲を屋根前カバー⑳に当たるまで後方から押してビスとナットで止めてください。

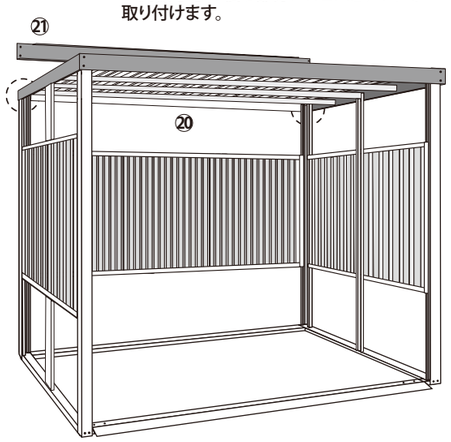


ビスの穴位置がずれる場合締めつけているビスをもう一度ゆるめてから合わせていただくようにお願い致します。
地面、柱が平行でないとビス位置が合わない場合があります。

13 屋根後カバー21

（使用ビスーA）＋ナット A

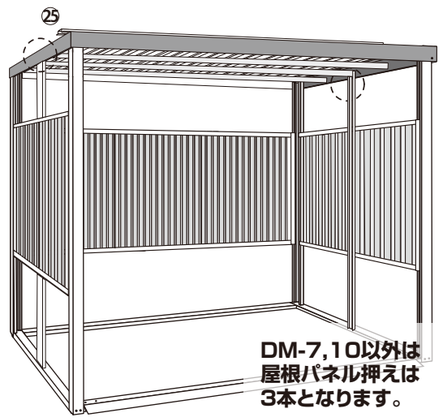
先に組み立てた屋根後カバー21、を側板⑧⑨の後ろ部分にAビスとナットで取り付けます。



14 屋根パネル押え25

（使用ビスーB） B

波板屋根パネル押え25を側板⑧,⑨の上からBビスで取り付けます。

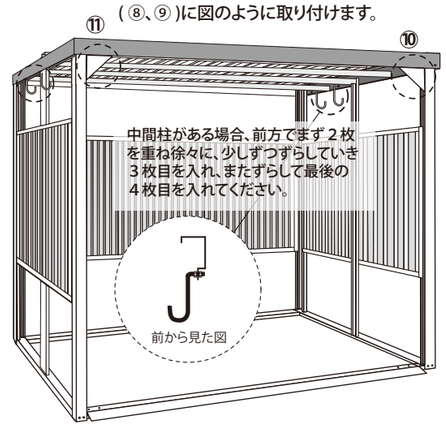


DM-7,10以外は屋根パネル押えは3本となります。

15 柱コーナー補強の組立

（使用ビスーB）（使用ナットーH）

柱コーナー⑩、⑪を前柱と前鴨居の角にビスBで取り付けます。フックは側カバー（⑧、⑨）に図のように取り付けます。

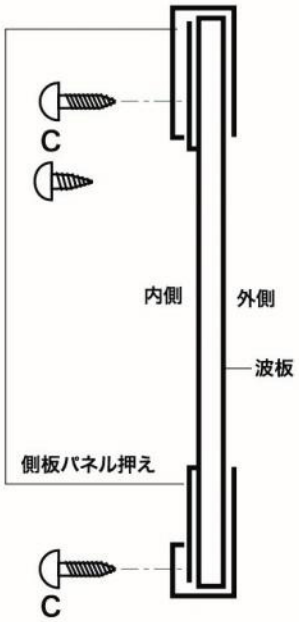


中間柱がある場合、前方でまず２枚を重ね徐々に、少しずつずらしていき３枚目を入れ、またずらして最後の４枚目を入れてください。

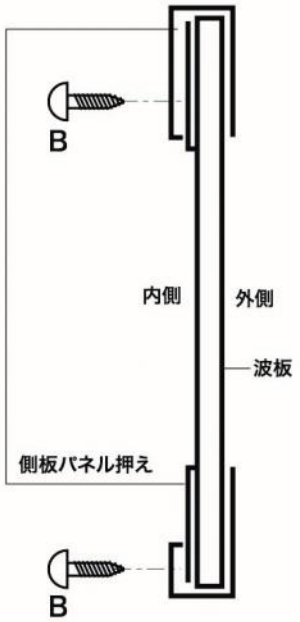
9 補足

側面パネル押え㉘、背板パネル押え㉔ の取り付けは下図をご参照ください。

側面パネル押え取り付け要領



背面パネル押え取り付け要領



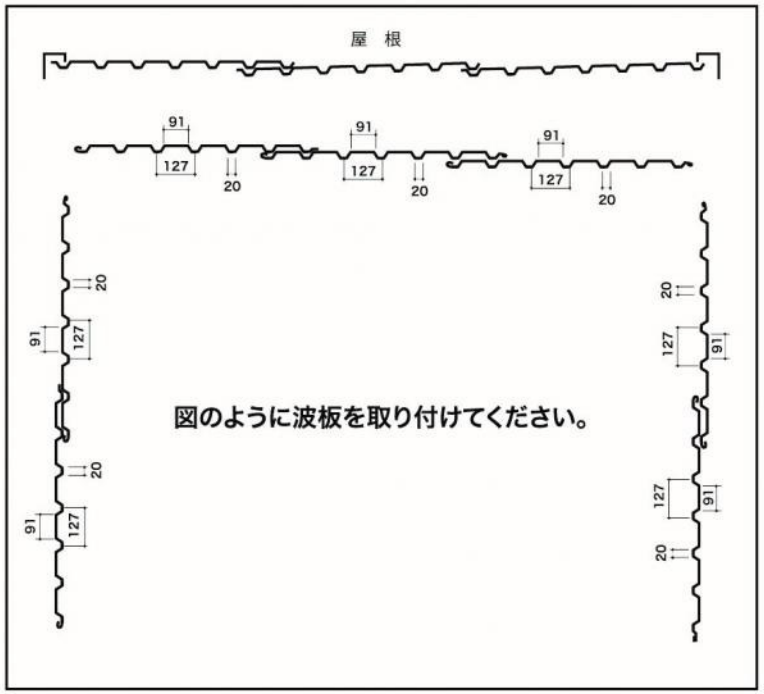
10 補足

DM-7,10以外は後側を先に取付
前側を後側の上に400mm程
重ねて取り付けてください。

屋根の波板は向かって左より
①②③ 順にのせて
ください。

屋根板は右端から左端、
真中と順番に重ねてください。
手袋をはめてケガを
しないよう注意して、
組み立をしてください。

※パネルの有効寸法が短い場合、
1枚又は2枚を上下逆さまにして
取り付けて下さい。



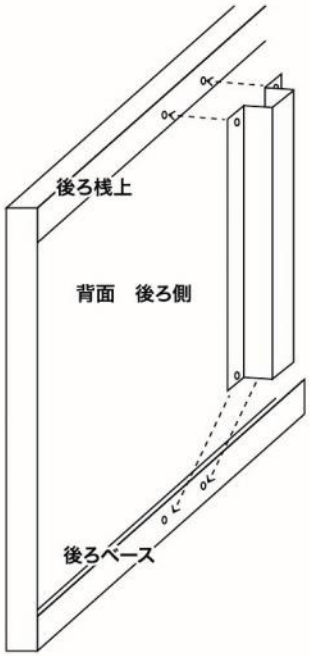
追加　補強板　計2本

背面の後ろ側から後ろ桟と後ろベースに
タッピングビスで留めてください。

風対策の補強板となります。

＊DM-7,DM-7L,DM-10には
同梱されておりません。

＊DM-11、L、DM-14、Lは4本
DM-16、L、DM-20、Lは6本

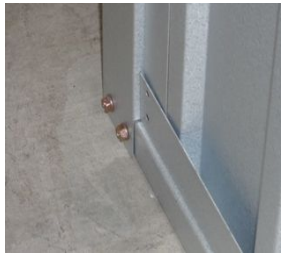


説明書6の1 (中間柱はＤＭ-14、ＤＭ-20以外は必要ありません。)

中間柱の組立

まず、中間柱にＣ型金具（下のみ）
を取付ます。このときＣ型金具の溝を上にして
取り付けて下さい。
（トラスビス（ナベ蓋びす）とナット）
を使用して下さい。（２か所）
外側からビスをさし、内側からナットで
取り付けて下さい。

モヤ（中鴨居）の組立



中鴨居後をナットがついている方を下にし、
側化粧⑧、⑨とビス2か所で取り付けて下さい。
同様に中鴨居中、中鴨居前を取り付けて下さい。
（注）中鴨居中はＣ型金具が外側になるように
取り付けて下さい。

中鴨居中と中間柱とをトラスビス25mmで
１本につき４か所取り付けて下さい。

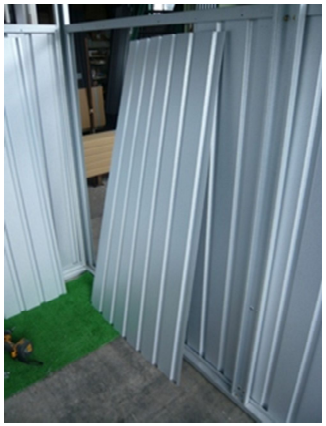
説明書7の1

中間柱に取り付けている下段のＣ型金具の上に
側下胴縁⑮を置き、説明書№7の縦胴縁を側胴縁⑮
の中に入れ、前柱、後柱にタッピングビスで
取り付けてください。

次に⑭側上胴縁を縦胴縁⑬に載せるように
取り付けて下さい。タッピングビス計８か所

最後に中間柱に上段のＣ型金具を取り付けて
下さい。（トラスビス、ナット2こずつ）

説明書9の1



側面パネルは別紙にありますように取付ますが
側板右の場合後方からまず１枚を取付、前方の方に
１枚分だけ前方に移動させ、２枚目を取付ます。
(注)パネルの角波１段分だけ重ね合わせて下さい。
以降２枚まとめて前方に移動させ、３枚目を取付、
３枚まとめて前方に移動させ、最後に４枚目を
取り付けて下さい。

最後にＣ型金具と側下胴縁、側上胴縁を
タッピングビスで計４か所止めてください。

屋根押え25番はＤＭ-7、ＤＭ-10以外は
3本となります。
タッピングビスで1本に付き計4か所を
取り付けて下さい。

補強板は最後にタッピングビスで１本につき
計４か所を取り付けてください。

組立順序　７　の順序変更

壁パネルがロングタイプの場合のみ
上図の様に③側ベースのうえに⑮側胴縁下を置いてから⑬縦胴縁を取り付けて下さい

背面においても同様に⑰背面胴縁を②後ベースの上に置いてから⑬縦胴縁を取り付けて下さい。